

# さくらの里新聞



第243号 令和6年3月16日発行

発行元 社会福祉法人心の会 さくらの里

通所介護課 課長（管理者）：馬賀清子 主任：入山祥子

〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4 E-mail: day@sakura-asunaro.com

電話046-852-0500 ファックス046-852-0643

さくらの里公式ブログ・デイサービス日記 <https://ameblo.jp/sakura-asunaro01/>

## 節分・豆まき・恵方巻

2月3日(土)

節分当日、今年も豆まき行事を行いました。ベランダに手作りの鳥居とおみこしを置いてさくらの里神社の出来上がりです。さらに服の上から羽織るだけで簡単に着脱できる袴(かみしも)もご用意しているんですよ。お客様も興味津々に眺めていたので、順番に数名ずつ豆まきを始めました。外ではどこからか現れた赤鬼と緑鬼が今にも襲ってきそうな勢いです。皆様ご高齢とは思えない剛速球で「鬼は外！」と豆を投げつけます。あまりに夢中になって「福は内」の分の豆がなくなってしまうほどでした。どうにか退治して鬼は退散しました。

そして節分と言えば最近では恵方巻も定番となってきています。昼食にはご飯と具がたっぷりの恵方巻をお出しして今年の恵方（東北東）を向いて召し上がっていただき、お腹いっぱいになられたようです。今年も病気や災いを追い払い、皆様が幸福に過ごせますよう職員も鬼も強く願っております。



## パッチワーククラブ

火～金曜日に実施しているクラブ活動です。材料費等は実費でご負担いただきます。どんなものを作るか、布選びもお客様が考えています。最近は手提げバッグが人気のようです。



# 特選スイーツ・「珠屋洋菓子店のザバロール」

今回のスイーツはザバロールです。名前だけ 2月22日(木)23日(金)24日(土)  
聞くとどんな食べ物か想像がつかないですが、

いわゆるロールケーキで、ココア生地にはバタークリームを巻き込みチョコレートでコーティングしています。逗子の駅前商店街にある珠屋洋菓子店の人気ロングセラー商品です。珠屋洋菓子店は創業74年の老舗で、昭和のスター石原裕次郎も愛した味なのだそうです。丸ごと1本を厚めに切って皆様



で取り分けて召し上がっていただきました。最近のケーキは生クリームが主流ですが、こちらは昔ながらのバタークリームで、お客様も「なんだか懐かしい味」とおっしゃっていました。コーティングのチョコレートもココアのスポンジも「甘すぎない上品な味」との感想もいただきました。地元で長く愛される間違いのない味にはお客様もまた買ってきて食べたいなあと好評でした。

## 2月のさくらクラフト工芸活動

## パクパク小物入れ

可愛いネーミングのパクパク小物入れ。材料は牛乳パックでお手軽ですが、布を針と糸で縫い合わせる細かい工程があるので、今回は難易度上級にしてみました。それでも作ってみたいと多くのお客様が申し込みをしてくださいました。一度に作る事はできなくても回を重ねて1針1針頑張っていっしょにやりました。小物入れの開いた口が貝のようで、片手で両端を押すだけ



だけでパクッと開くのでパクパク小物入れと言う名前をつけています。アクセサリやキャンディーなどちょっとした小物を入れることができます。布は和柄を多く取り入れたこともあり、まるでどこかの民芸品のように見た目もとても可愛らしく、手作りとは思えない程の完成度でした。難しくても、気合とやる気があればできあがるものですね。皆様お疲れ様でした。

## チョコレート味比べ

2月14日(水)15日(木)



2月のバレンタインデーに合わせて味比べもチョコレートを選びました。冬季限定で販売されている明治のお菓子「メルティーキス」ですが、お客様も初めて召し上がるとの事。プレーン・いちご・抹茶の3種類を比べました。柔らかく口の中で溶けるような食感は好評で、

人気は甘さのあるいちごとさっぱりした抹茶に二分しました。チョコレートはほどよく食べれば体に良い成分もあるのでお茶の時間にちょうどいいお菓子ですね。

